

東京都議会議員

# 馬場 裕子

【馬場裕子プロフィール】昭和21年1月8日生まれ。平成3年より品川区議会議員2期。平成9年より東京都議会議員4期。東京都監査委員、都議会民主党政調会長、民主党都連政調会長ほか歴任、現在都議会民主党副団長。文教委員会理事、築地市場特別委員会理事、都議会民主党教育政策調査会会長、築地市場再整備PT座長他。

## 築地市場再整備

### 都民のアイデア募り、実現に着手！

**築**地市場の移転については、移転予定地から高濃度の汚染物質が検出されるなど、安全性が確認されていません。また、関係者の合意も得られていないことから、都議会民主党は、現在地再整備について、改めて検討することを求めています。

都議会では、平成22年度予算の付帯決議に基づき、現在地再整備の可能性について検討することになり、都議会民主党で、築地再整備のアイデア募集をしたところ、実に45件ものアイデアが寄せられました。

今後、都議会民主党では、これらアイデアを類型化しながら、都議会に提示し、検討材料として役立てていきます。

引き続き、皆さまのご支援・ご協力をお願いいたします。



全文は <http://www.tukijisaiseibi.com> に掲載

#### 01 新オリーブ誕生-SDG提案の新築地市場計画

▶市場の上空中20mに新たに市場を建設。完成後市場を上空に移転し、地上は公園にするアイデア。

#### 02 築地新市場現在地再開発基本計画

▶晴海への仮設・仮移転で現築地を一挙に開発。5%勾配のスロープで4層の建物を実質平面化するアイデア。

#### 03 築地天空市場

▶築地市場を運営しながら、その上に床を造るアイデア。



#### 04 SKY n ARC 築地スカイアーク

▶築地、晴海、豊洲の3地区を国際競争拠点特区として開発するアイデア。晴海を一時移転先と想定。〈右上のパス〉

#### 05 メガフロートによる建設用地確保+民間資金を活用した東京都出資ゼロによる市場整備

▶タイトル同様のアイデア。

#### 06 築地天空市場

▶隅田川上に浮体構造で仮移転先を建設するアイデア。



#### 07 国の「未来の輝き」を世界に示す築地地区文化創生計画

▶築地市場だけでなく、浜離宮から築地本願寺を含む地区を観光・文化の視点でとらえたアイデア。

#### 08 築地新市場現在地再開発基本計画

▶遮水性を持つ工法により、水際まで地下空間を作り出し土地の拡大を図るアイデア。



公募の現地整備案発表記者会見の様子

ご意見・ご要望をお寄せ下さい

FAX.03-5746-8832 E-mail baba@cts.ne.jp

連絡先

## 馬場 裕子 事務所

〒140-0014 品川区大井1-53-5-101

TEL.03-5746-8834 FAX.03-5746-8832 E-mail baba@cts.ne.jp

都政報告 随時更新中

[www1.cts.ne.jp/~babayuko/](http://www1.cts.ne.jp/~babayuko/)





2010年6月10日  
号外(品川版)  
(第1・第3金曜日発行)

民主党プレス民主編集部

〒100-0014  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話03-3595-9988(代表)  
press@dpj.or.jp  
http://www.dpj.or.jp

都議会議員・馬場裕子への連絡は、

民主党東京都品川区支部

〒140-0014 品川区大井1-53-5 高山ハイツ1F  
E-mail s-dpj@themis.ocn.ne.jp  
Tel.5746-8833 Fax.5746-8832



対談

馬場裕子 都議  
加藤としゆき  
参議院議員

# ものづくり日本を語る

▶ 民主党 加藤としゆき参議院議員(全国区比例代表選出)と馬場裕子都議会議員(品川区選出)が、「ものづくり日本」と、「環境」、「教育」、「暮らし」、「行革」について対談しました。

国政と都政がガッチリと連携し、国民・都民の「生活が第一」を押し進める決意を語り合う、有意義な対談となりました。

〈司会：土井洋一 品川区議会議員〉

参議院議員会館にて(6.3)



## 「ものづくりは、国づくり」

加藤

## 「品川でも重要課題」

馬場

(司会) 加藤としゆき参議院議員には国会開会中のお忙しいなか、馬場裕子都議も都議会民主党の重鎮として多忙のなか、ありがとうございます。昨年夏の東京都議会議員選挙で民主党が議会第1党に躍進し、その後の衆議院議員選挙で国では政権交代が実現しました。しかし、経済などきびしい状態にもあります。

加藤としゆき わたしは日本の国づくりはものづくりと訴え続けてきました。資源小国列島の日本は、ものづくりこそ、経済・雇用・環境対策などを進める基本です。そんななかで国民の暮らしを支えていかなければなりません。

馬場裕子 東京都でも、ものづくりは重要課題です。とくに私や司会の土井さんが住む品川区は、住・工・商のバランスよい発展が必要です。品川にある電機の企業が、品川の小学校でもものづくり教室を開いていただいで、地域のみなさんもたい



へん感謝しています。

加藤としゆき いま中国や韓国、インドなどがものすごい勢いでものづくりを進め、日本が追い上げられています。国のみでなく、都道府県も、区市町村も、さらには企業自身も連携してがんばらねば、日本が成り立たなくなる……。

馬場裕子 わたしも親兄弟が電器屋を営んでいます。身につまされる思いです。

## 「教育格差なくす」

加藤

## 「あんしん日本を」

馬場

馬場裕子 わたしはこの13年間、都議会民主党の「教育政策調査会」会長として、大都市特有の東京の教育に取り組んできました。いよいよ「子ども手当」や「高校授業料の無償化」など、民主党のチルドレンファースト施策が実施されます。「所得格差」が「教育格差」につながる状況を打開するために有効な施策です。

加藤としゆき ICT化・情報化が進むなか、子ども達には国際的視野を持った教育を、等しく受けてもらいたいですね。受けたいと望む子ども達すべてが、教育を受けられる体制の第一歩です。政府・国会でも、子どもの教育環境整備の予算をしっかりと確保します。ものづくりは人づくりからですよ。社会全体で子どもを育てる社会の実現をめざします。

(司会) 東京では震災の避難所となる学校の耐震化も課題です。

馬場裕子 震災に関連しては、帰宅困難者対策も、国・都・区と企業が連携する必要があります。少人数でひとりひとりを大事にする教育は、地域に財源をも移す、政府の対応が必要です。前自民党政権で教育の補助金を3分の1に減らされました。

加藤としゆき 教育の面でも、震災対応でも、ハード・ソフトの両面のとりくみで、安心して受けられる、格差なく受けられることが必要です。「あん

しん日本」のとりくみで、幸せな暮らしを支えたいですね。

## 「環境日本をめざします」

加藤

## 「平和と雇用拡大も」

馬場

加藤としゆき わが国は、有効な枠組みと合意のもとに25%の温室効果ガスの排出削減の目標をかげました。並大抵の目標ではありません。国を挙げての対策で技術革新を生み出し、雇用を作らねばなりません。日本はその力を持っています。官民が協力して地球環境問題にとりくみ、世界に広める。わたしが「ものづくり日本」を大声で訴え続けるのは、そのためでもあります。

馬場裕子 環境問題で世界の平和と安定に貢献できたらすばらしい。東京都では環境確保条例をつくり、きびしい温暖化対策を自らも進める決意をさせました。しかしそのことが、雇用や労働条件の不安定化につなげてはなりません。



## 「行革日本をともに」

加藤・馬場

加藤としゆき きびしい経済情勢や税収見通しからも、子育てや高齢化対策を考えるにも、財源を生み出す「行政改革」は強力に進めなければなりません。事業仕分けの徹底もそのひとつです。

馬場裕子 東京でも、新銀行東京や築地市場の移転問題など、課題が山積しています。ともに行革に努めましょう。

加藤としゆき 行革日本をともに進めましょう。

(司会) お忙しいなかありがとうございました。ひきつづきのご活躍を期待します。

## 参議院東京選挙区擁立を決定



参議院議員

小川 敏夫



参議院議員

蓮 舫



2010年6月10日  
号外(品川版)  
(第1・第3金曜日発行)

民主党プレス民主編集部

〒100-0014  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話03-3595-9988(代表)  
press@dpj.or.jp  
http://www.dpj.or.jp

都議会議員・馬場裕子への連絡は、

民主党東京都品川区支部

〒140-0014 品川区大井1-53-5 高山ハイツ1F  
E-mail s-dpj@themis.ocn.ne.jp  
Tel.5746-8833 Fax.5746-8832



# 対談 馬場裕子 × なたにや正義 参議院議員と 教育・環境・平和を語る

▶ 民主党の参議院議員 なたにや正義さん(全国区比例代表選出)と馬場裕子都議会議員が、教育、環境、生活、平和について対談しました。国政と都政が、がっちり手を組み、都民の生活や環境を守る決意を語りあった有意義な対談になりました。

**馬場裕子** 本日は参議院議員として国会会期中のお忙しい中、有り難うございます。

**なたにや正義** 国と都が力を合わせて、生活者の視点から政策を見直す作業が続いていますが、何よりも“子ども施策”を優先に考えなければならないときに、このような対談ができてうれしいです。

## 「チルドレンファーストと教室が原点



**馬場裕子** いよいよ「子ども手当」や「高校の授業料無償化」など、民主党の“チルドレン・ファースト”が施策実施になります。この間、国会での取り組みに御礼申し上げます。私は都議会議員13年目となりますが、都議会民主党

の「教育政策調査会」会長として、大都市特有の課題を抱える東京の教育について取り組んでいます。なたにやさんは教育の専門家としても参議院でご活躍ですが、この6年間、何を大切にされてきましたか?

**なたにや正義** 「教室が原点」子ども達の生活と学校を第一に考えて、できることから実現させることを心がけてきました。たとえば学校の耐震化に予算を付け、避難所となる学校の体育館に緊急連絡のできる第2の学校電話を設置することなどを実現しました。

**馬場裕子** フィンランドなど北欧諸国では20~30人のクラス編成で、ひとりひとりを大切に育てる教育をしています。40人学級のまま国庫補助金を1/3にした日本の文科省は、近年小1プロブレムや少子化対策など地域に教育まかせる方向になってきましたが財源は伴っていません。私も教員の皆さんとともに、東京こそ少人数学級を実現すべきと主張してきました。やっと都教委も今年度から1クラスを39名、来年38名、再来年37名限度とし、教員増とともに外部人材活用事業に取り組むはじめました。

**なたにや正義** 少人数学級の実現は、子どもと向き合う時間を奪っている教職員の多忙化を解消する意味でも大切です。

**馬場裕子** そうですね。東京では教員の大量退職のため小学校の先生が足りない。加えて新任でクラス担任する先生へのサポート対応。都立高校でも再編の結果、今年度中学受験生の受け入れができず急遽定時制高校の追加募集をした、など緊急の課題が沢山出ています。

**なたにや正義** 国づくりは、人づくりから。社会全体で子育てをする社会を実現したいと思います。日本は今まで教育予算に関して先進国の中でも低水準と指摘されながら、競わせて家庭の負担増や自己の努力に負わせてきました。これからは教育格差を解消するために公教育を充実させ、給食費の無償化や教材費の見直しなど取り組みます。

## 格差と貧困から子どもを救う政策を

**馬場裕子** 日本の子どもの7人に1人が貧困!という衝撃的な現状です。都でも平均所得が下がる中、生活の格差が教育の格差となっています。子ども手当や高校の授業料無償化などは家庭の経済状況によって教育の機会を奪われている子どもたちにとって重要な政策だと思います。私立高校生徒も勿論全員公立と同額の負担減となり、更に親の所得に応じて授業料の全額から半額補助が本年度より実施されます。

**なたにや正義** IT・情報社会が急速に進み、世界の情報が個人で収集できる時代となりました。これからの教育は国際的視野をもって当たらねばなりません。と同時に誰もが個性を認め合う共生・共学のインクルーシブ教育、子どもの人権が尊重される学校環境を進めたいと思っています。



**馬場裕子** インターネットやメールは子どもたちにとって日常生活に必要な普通のものとなっています。一方で子どもがいじめ等の人権侵害行為の被害者になったり、逆に加害者になったりしている状況があります。また「児童ポルノ」画像を通じて子どもの尊厳が傷つけられている実態は放置できません。子どもたちがインターネットを正しく利用できるよう、メディアリテラシー教育を早急に進めます。また子どもの人権侵害のおそれのある行為・家庭での虐待を含め社会が子どもを守るよう、正面から子どもの権利保障を謳う「子どもの権利

## 参議院東京選挙区擁立を決定



参議院議員

小川 敏夫



参議院議員

蓮 舫

条例」の制定を目指しています。

国でも、「子どもの権利条約」を批准しているにもかかわらず進んでいない状況でしたが、これからは積極的に取り組みます。教育も含めて未来を築く子どもたちへ、誰もが平等な共生社会を実現することが私たち大人の責任ですからね。

## 平和と環境を守り、雇用の拡大を

**馬場裕子** 教育の話は尽きないのですが、環境や景気と雇用の拡大、平和などの課題についてはどうでしょうか?

**なたにや正義** エネルギー問題は、景気や雇用とも密接に関係しています。学校施設などに太陽光発電パネルを設置するなど、公的施設が率先してクリーンエネルギーをかつよう・維持していくことで、産業の振興と雇用の拡大を図ることができると思います。

**馬場裕子** 都は今年度から「環境確保条例」によって厳しい温暖化対策を求めています。今後国と連携して温暖化対策を進め、クリーンエネルギー都市にしていきたいと思っています。年末の「日比谷派遣村」は近年の経済構造が労働環境へのしわ寄せを許し、不安定雇用・若年者雇用の問題を起こしていることを表面化させました。低賃金で使い勝手の良い派遣労働や男女の賃金格差、少子高齢社会における世代間格差も課題です。

**なたにや正義** 格差をなくし、男女ともに仕事と生活の両立ができる社会をつくるために、長期的視野で負担と給付が公平になるよう税金や社会保障制度を見直します。育児や介護を社会全体で支援することで過度な家庭や女性への負担をなくします。そして、学校でも職業観や労働について学び、将来自分に適した職業に向け勉強できる環境を作りたいと思っています。

**馬場裕子** 東京には、世界に誇る技術をもった産業が沢山あります。多様な文化への関心、地域の活性化など若者が求める社会づくりを支援し、安定した雇用で技術を継承していけるような諸政策も大切です。戦後65年、東京の街にはもう戦争の面影は見あたらなくなりました。しかし、3月10日平和の日や東京大空襲訴訟など世界平和を求める声は大きくなっています。

**なたにや正義** そうですね、世界に誇れる日本国憲法を学校、社会、そして世界で活用できないかと思いません。憲法9条を生かした平和外交政策を展開して、核兵器の廃絶をぜひ実現したいと思います。

**馬場裕子** 私も同じ思いです。今日お話ししたことを参議院議員として多くの皆様に訴えて下さい。ありがとうございました。

